

助産師外来開設の ストラテジー

産科医不足や産科医の地域での偏在などから、全国各地で産科閉鎖が始まり、いま周産期医療の転換期を迎えようとしています。この緊急事態に対応する手段として、助産師が専門職としての力を発揮できる「助産師外来」が開設され広がりを見せてつあります。

医師不足が生んだ急場しのぎの対策ではなく、周産期医療の新たな形として、助産師の働き方に期待が高まるところです。まずは一歩を踏み出そうと、戦略的に「助産師外来」を開設した施設を紹介し、その現状から将来の助産師の働き方を探ります。